

令和 7 年 11 月 30 日

公益社団法人神奈川県柔道整復師会

会 長 齋藤 武久 様

公益社団法人神奈川県柔道整復師会

総務部長 梅 本 彰 吾

令和 7 年度鎌倉市野球協会学童部への野球肘検査・野球教室への会員派遣に係る報告について

標記につき、同席医師監修の下、以下のマニュアルに基づいた超音波画像観察装置を用いた「野球肘」に対する観察評価を小学生123名に対して実施いたしました。

無症状で経過する上腕骨小頭離断性骨軟骨炎が3症例の陽性を認め、当会協力医療機関である太田総合病院 都賀 誠二 先生での精査加療を薦め、その他、内側型やリトルリーガーズショルダー等の症例に対して、選手本人やご家族、指導者を含め、指導管理を実施いたしました。

日時 令和7年11月 29 日（土） 13：00

場所 笛田公園内野球場

時間 13：00～17：00

対象 鎌倉市野球協会所属学童チーム

主催 鎌倉野球協会学童部

協力 NPO 法人 B・Basis・（公社）神奈川県柔道整復師会・ボランティアスタッフ

本会参加者 広報部長 小野博道・総務部長 梅本彰吾

総務部員 山崎慎也・総務部員 山崎陽介・学術部員 山口善弘・広報部員 八巻優汰

（野球肘検査の流れ）

1 問診票の記入：各チーム保護者がサポート

↓

2 可動域検査・視診・圧痛（内側上顆・円回内筋共同腱・尺側手根屈筋・肘頭）

↓

3 エコー検査

方法：チーム名と割り振った番号を登録 ※データは集めます。

エコー設定：Gn 6 0 基本

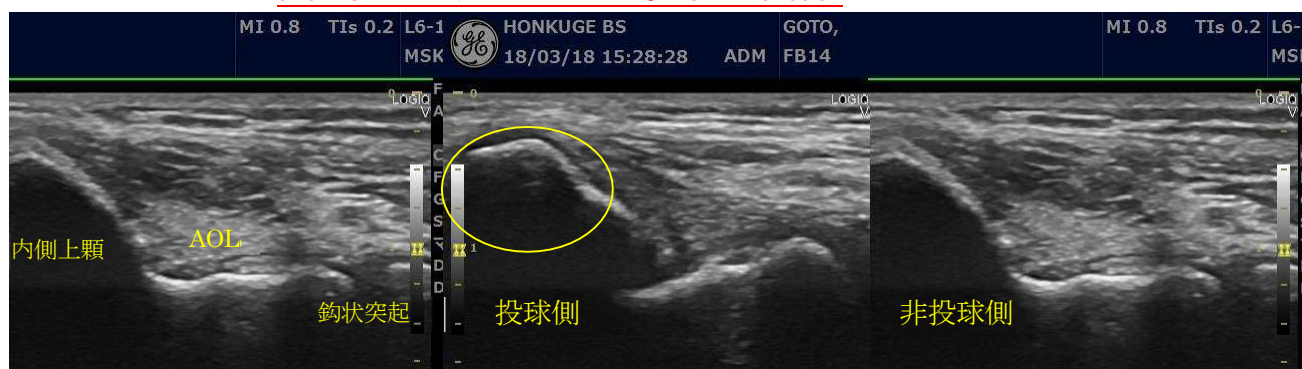
内側型観察 – 座位にて肘 3 0 度屈曲・前腕回外位ポジション

プローブ長軸

内側上顆にあてプローブを尺骨軸に対し約 2 0 ～30 度傾ける（A O L に沿って）内側上顆 A O L（前斜走靱帯） 尺骨鉤状突起を映し出し 1 枚保存

↓異常なし ↓不整像・裂離像と思われるもの

外側型の検査 **健側対比を必ずしてください。対比1枚保存**



— 内側型異常評価の指導方法 —

内側型の症状が強く出ている生徒は都賀先生に診て頂きます。

既往歴のあるもので現在症状ない場合は、今後痛める可能性があるため投げ方や投球数に注意を払うように指導してください。

既往歴なしで不整像・裂離像がある場合は、今後痛める可能性があるため投げ方や投球数に注意を払うように指導してください。

外側型観察 — 座位にて肘完伸展位・前腕回外位ポジション プローブ長軸

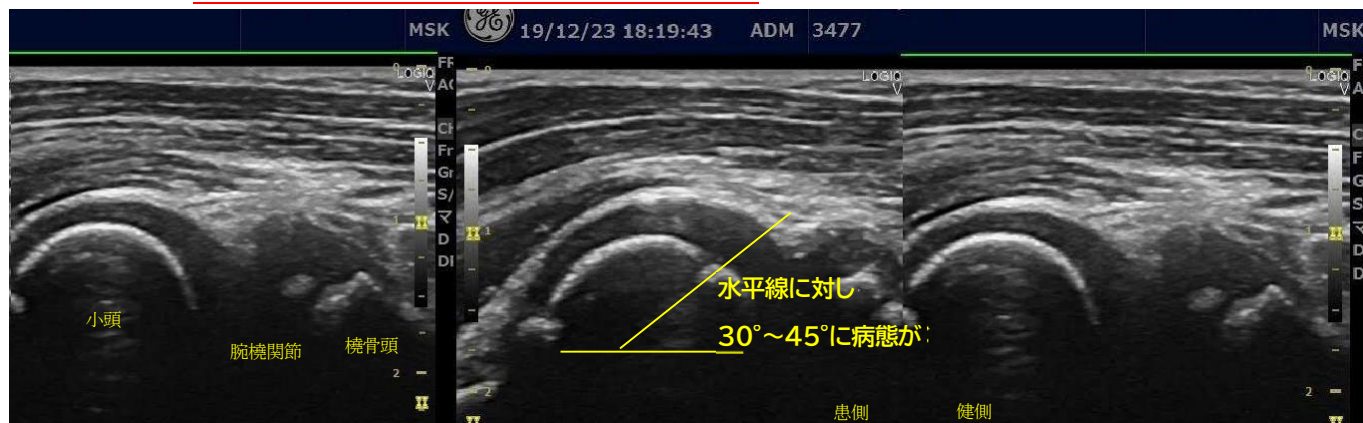
① 腕橈関節に対して前面より長軸にて当てがう

※注意！！ 離断性骨軟骨炎（OCD）は小頭外側から発症します。小頭を外側から内側にプローブを移動し観察してください。

上腕骨小頭 腕橈関節 橈骨頭 1枚保存 ↓異常なし

↓不整像と思われるもの

横軸像へ **健側対比を必ずしてください。対比1枚保存**



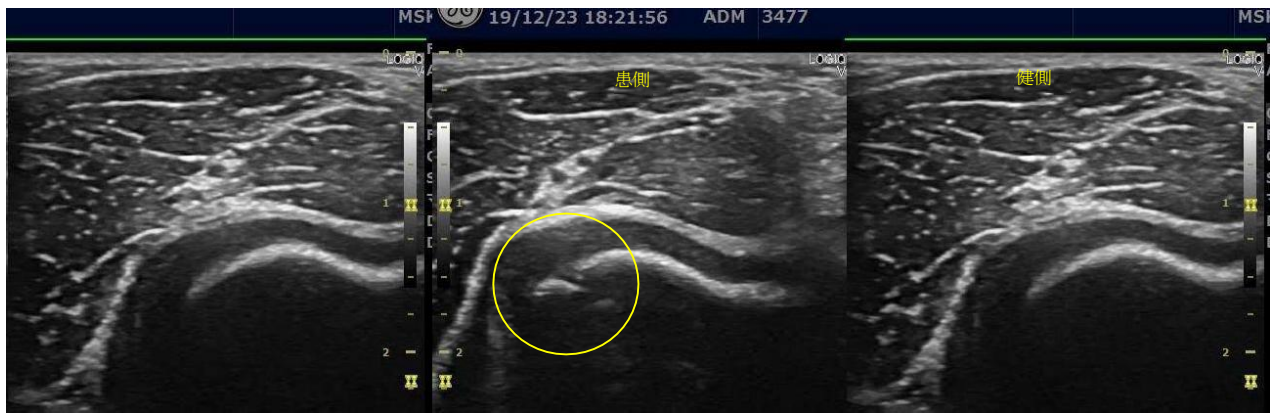
② 上腕骨小頭に対し短軸像へ

※長軸像のみだと見落とす可能性があるため！上腕骨小頭の腕橈関節に近い部分

上腕骨小頭関節面外側部を中心に 1枚保存

↓異常なし ↓不整像と思われるもの

健側対比を必ずしてください。対比1枚保存



— 外側型異常評価の指導方法 —

可動域制限や痛み、エコー上陽性所見がある場合は医師に診て頂きます。

現在症状ない場合は、「しっかり検査しましょう！」確定診断をもらえるまで投球は控えるように指導してください。

超音波画像観察装置による観察評価 会場風景



投球指導風景（笛田球場）

